

# 特定希少野生動植物コサナエ保護管理事業計画概要

## ■ コサナエについて

分類:トンボ目サナエトンボ科コサナエ属

学名: *Trigomphus melampus*

止水性サナエトンボ類のなかでは最も小さいトンボ。

平地～山地の植生が豊かな池沼や湿地の滞水域に生息し、奈良県での成虫の出現期は4月下旬～6月中旬。



## ■ 分布

- ・日本特産種で、北海道から山口県の各都道府県に広く分布しているが、紀伊半島における分布は非常に局所的で生息数も少ない。
- ・奈良県内では、下北山村の2所のみが生息しているとされていたが、令和3年に新たに奈良市で確認された。

## ■ 保護管理事業計画とは

- ・奈良県希少野生動植物の保護に関する条例 第30条に基づく計画
- ・特定希少野生動植物の保護管理事業を適正かつ効果的に実施するために策定

## ■ 策定に向けた経過と今後の予定

- 令和元～3年度 計画策定調査業務委託(令和元～3年度 委託先:環境科学大阪(株))
- 令和3年12月 奈良県希少野生動植物保護専門員会議にて協議
- 令和4年 2月 奈良県自然環境保全審議会自然保護部会にて計画案を諮問
- 令和4年 3月 保護管理事業計画を策定

## ■ 保護管理計画

### I. 生息地の現状と課題

- ① 生息地環境改変の可能性
- ② 認知度が低い
- ③ 保全活動の中心となる人物・団体がいない

### II. 生息環境

- 幼虫・・・水底の柔らかい砂泥の中や植物性沈積物の陰
- 成虫(羽化直後)・・・近くの林等
- 成虫(成熟)・・・解放水面

### III. 保護管理計画の基本方針

- ・生息地のモニタリング
- ・生息環境の創出・改善
- ・知識の普及及び啓発・協働

### IV. 事業の目標

#### 1. 当面の目標

- ① 自然下における安定的な存続
- ② 生息地における住民の認知度向上

#### 2. 中・長期計画

- ① 生息地及びその周辺地域の住民との地域連携による保全活動の展開
- ② 個体群の生態解明

### V. 事業の区域

県内の本種が生息する地域

### VI. 事業の内容

#### 1. 当面の事業

- ① 現状の把握(奈良市)
- ② 生息地の状況把握と連絡体制の整備(下北山村)  
→環境改変前に情報把握
- ③ 生息地のモニタリング  
→変化を直ちに把握(脱殻調査・環境 DNA 分析を想定)
- ④ 知識の普及・啓発 → 情報発信、学習会などを通して地元の認知度向上

#### 2. 中・長期の事業

- ① 生息環境の創出・改善  
→既存水域内に保全区画の設定、周辺に新たな水域の創出  
(外来種の侵入防止対策実施)
- ② 保全活動体制の構築  
→生息地住民等が主体となった保全活動等の中・長期的に展開に向けた働きかけ等を実施
- ③ 調査・研究  
→個体群の実態解明のため、大学等と連携し環境 DNA 分析や標識再捕獲法等調査を検討